

議会だより

おお、そ



わくわくの
一年生

(関連記事24ページ)

3月定例会

予算審査…2～9

当初予算を可決

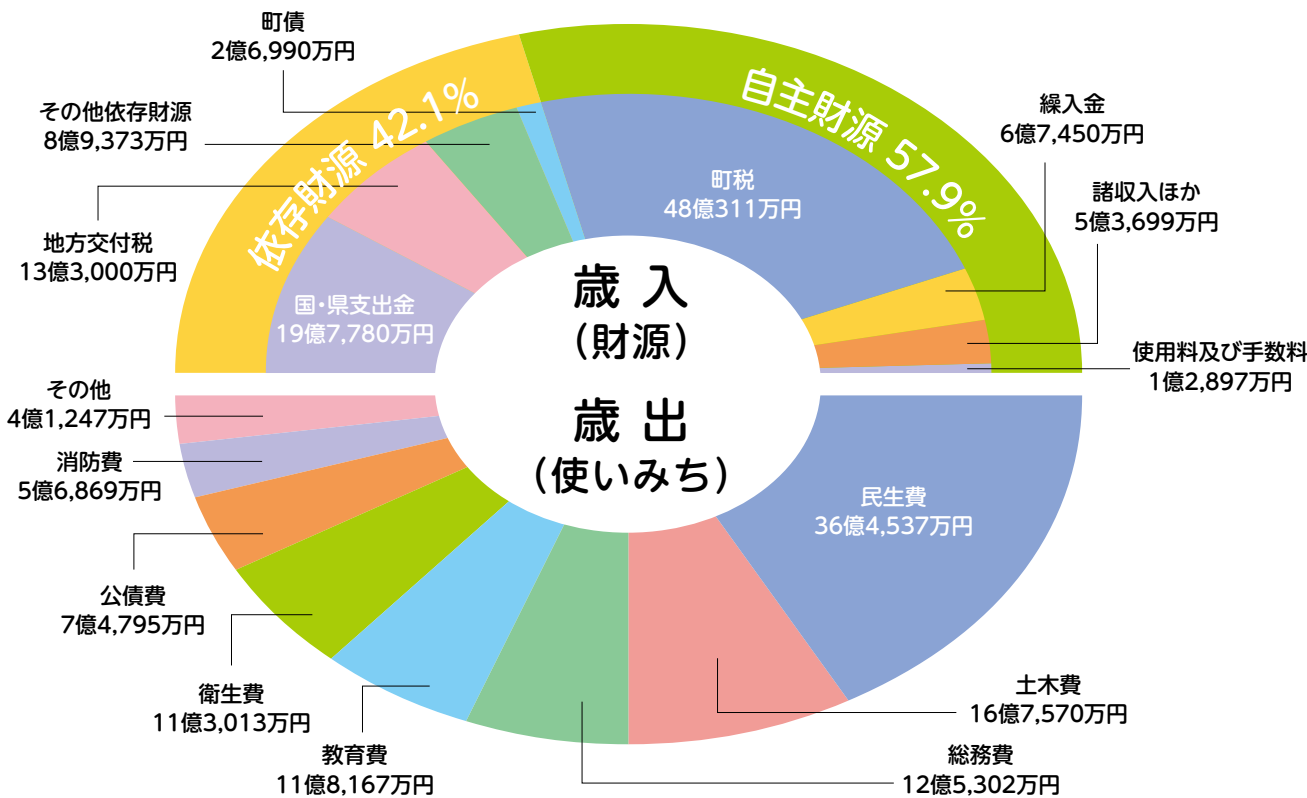
3月定例会

2月13日から3月15日までの31日間の会期で開催しました。

本会議初日は、新規条例3件、条例改正7件、補正予算が4件、人事案件が1件、その他議案2件の17件を審議しました。このうち、一般会計補正予算では議員から修正案が提出され、可決しました。

令和5年度予算は、予算特別委員会を設置し審査を行いました。

最終日では、初日に付託された新規条例3件及び条例改正1件、令和5年度予算案を原案どおり可決したほか、議会提出議案1件を可決しました。一般質問では9人が町長や教育長に行政事務についてたずねました。



会計別予算額

金額は、1万円未満を四捨五入

会計別	予算額	前年度比
一般会計	106 億 1,500 万円	6.5%増
国民健康保険事業特別会計	34 億 3,000 万円	1.1%減
後期高齢者医療特別会計	11 億 2,600 万円	2.2%増
介護保険事業特別会計	30 億 8,400 万円	1.9%減
下水道事業会計	22 億 3,960 万円	15.0%減

※下水道事業会計の当初予算額は、収益的支出及び資本的支出の合計額を記載しています。

令和5年度

令和5年度の主な事業

横溝千鶴子記念障害福祉センター整備事業

1,940 万円

障害福祉センターの今後の活用に向けて改修等を行う。



こども医療費助成事業

9,960 万円

4月からこども医療費助成対象を中学校3年生から高校3年生までに拡充する。



大磯駅前広場整備事業

2,968 万円



安全性の向上に関する整備及び町民アンケート調査結果を踏まえた設計等を実施する。

学校給食運営事業 小学校給食費無償化補助金

7,227 万円



4月から保護者負担軽減のため、小学校給食の給食費の無償化を行う。

明治記念大磯邸園整備事業

1億 5,391 万円

歴史的遺産の一体的な活用・保存を図るため、歴史的建物群及び緑地を国・県・町の連携の下、整備する。

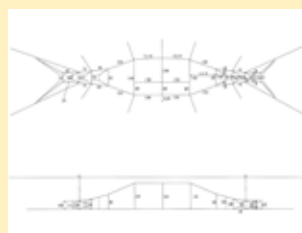


旧西園寺別邸跡エリア

漁業活性化推進事業

1,183 万円

大磯二宮漁業協同組合が令和5年度操業開始に向けて準備している定置網漁業に対して事業費の助成を行う。



設置予定の定置網

令和5年度 施政方針

地域活性化

夏のウィークリー打ち上げ花火の実施や「みなと」を核とした賑わい創出のためのイベント実施など、より集客力の高い効果的な観光施策を行う。

大磯二宮漁業協同組合が実施する定置網漁業への支援を行い、大磯港の年間水揚げ量の向上や大磯コネク特等での直売事業の活性化を図る。

福祉・医療の充実

障がい者福祉環境の整備として、グループホームの家賃助成や事業所などに通所する際にかかる交通費の助成を充実させる。

徳洲会湘南大磯病院は、安心して医療が受けられるよう診療科の確保と産科・小児科の再開に向けて尽力していく。

大磯町社会福祉協議会への運営支援を行う。

子育て・教育環境の向上

子どもの医療費助成を18歳まで拡充する。

子どもの居場所づくりとして、公園遊具のリニューアル整備を行う。

学校施設を安全・安心に利用できるよう小中学校の施設改修や中長期的な学校教育施設整備に向けた基本構想を策定する。

小学校給食の完全無償化の実施を行う。



予算審査

補正予算

議案審議

議案審議・審議結果

一般質問

議会報告会

行政機関・その他

本庁舎整備は、早期に耐震診断を行い現庁舎活用の可能性を把握した上で今後の整備の方向性について判断する。

大磯駅前広場の整備は、バス停などへの上屋設置や電線類地中化工事などの設計作業の追加、交通島の一部の工事を進める。

火葬料補助金は、交付上限額を9万5,000円に引き上げる。

防災

「防災行政無線」、「おおいそ防災・行政ナビ」に加え、「防災ラジオ」などの情報発信方法導入を検討し、情報伝達手段の多重化・多様化による災害に強い基盤の強化を進めていく。

集中豪雨や台風などの河川への浸水対策として、三沢川と金目川との合流部分における水門設置に向け、取り組む。

自然環境保全

松くい虫による松枯れの被害対策を行い、町内の松林の保全に努める。

廃棄物処理は、ごみ減量化、資源化の推進による循環型地域社会の形成を目指す。

道路が狭くごみ収集車が入れず、不便をきたしている地区へ試験的に軽自動車による収集を行う。また、戸別収集についても試行的な取り組みを検討していく。

町長は予算の提案理由に換えて施政方針演説を行い、人口減少に歯止めを掛けるために「子育て・教育環境の向上」、「福祉・医療の充実」、「地域活性化」、「自然環境保全」、「防災」、「行政機関・その他」の6つの政策に重点を置き、さまざまな取り組みを進めていくことへの抱負を述べました。

現地確認を実施

令和5年度予算（案）の審査にあたり、3か所の現地を確認し、所管課からの説明を受け、審査の参考としました。

公園施設更新事業 8,916万円



馬場公園



なかよし公園

老朽化した公園施設の更新を行い、特色ある公園環境を創出することで、さまざまな公園利用者の満足度を向上させる。

地域会館整備事業 1,000万円



黒岩公民館建替予定地

地域集会施設整備の支援を行い、コミュニティ活動の活性化及び災害等の発生時における避難場所等の活用を図る。

4人が総括質疑

【文責は本人】

町社協運営の立直しは

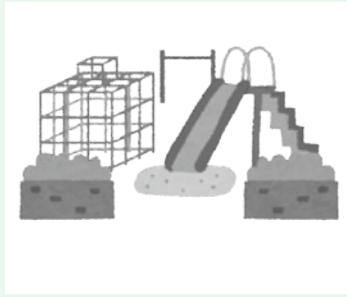


吉川 重雄

問 令和5年度重点取組みの中の前年の町長運営の問題点、町社会福祉協議会（以下、町社協）の運営立直しは、従前どおり問題ない町社協の体制づくりが実現するののか、町長の見解を伺う。

町長 本来、社会福祉協議会とは法律により地域福祉の推進を図る目的として位置づけられている。子どもから高齢者まで安心して生活ができる福祉の町づくりには重要な団体である。本年は、町社協に町職員の理事の増員や事務局への町職員派遣など、町と町社協の職員が協力していく。

人口減少対策について



吉川 諭

問 人口の自然増と社会増のどちらにより重点を置く予算なのか。
町長 どちらにもつながる人口減少対策を進める必要がある。子育て世代の経済的負担軽減や介護予防の普及を進める。町

独自の文化芸術を通じた魅力発信により人を呼び込む流れにつなげたい。
問 子育て・教育関連事業は前年度比約3億円増だが、財源は。
町長 医療費助成の拡充は県の財政支援を、公園リニューアルは公共施設整備基金を、小学校給食無償化等は財政調整基金を繰り入れて対応した。

重点項目について問う



子育て・教育環境の向上

奥津 勝子

問 「子育て・教育環境の向上」について、学校施設の学校教育施設整備基本構想とは。
町長 教育施設等長寿命化計画の定めた改修等の順位を踏まえ、小・中学校4校をいつどのよう

整備していくか決める。
問 「防災」について、防災ラジオなどの新たな情報発信方法導入とは。
町長 大規模地震による津波から町民を守るため緊急時にさまざまな手段を使った情報発信や避難体制の構築が重要。防災行政無線、おおいそ防災ナビに加え、防災ラジオなどの導入を検討。

財政運営は持続可能か



返礼品の一部

鈴木 京子

問 議員活動や選挙活動で届けられた町民のさまざまな要望に定める予算と考えるが、持続可能なのか。今後の行財政運営の見直しはどうか。
町長 当初予算は人口減少対策元年と位置付け、

政策集に掲げた取り組みを実現させ、町の発展に向け持続可能な行政運営に力を注ぐ決意の下、編成した。
財源は町税や国・県の補助金等の確保、大磯港の駐車場収入、ふるさと納税による収入の増加に向けた取組みを積極的に行い、財源確保に努めていきたい。

主な質疑内容



予算特別委員会のようす

予算特別委員会へ付託された、令和5年度予算5議案を4日間の予算特別委員会で慎重かつ厳正に審査し、一般会計予算・3特別会計（国保・後期高齢者・介護）・下水道事業会計予算を可決しました。

選挙

町議会議員選挙事業
2584万円

問 高齢者のために巡回するような投票所の設置や期間の延長等の検討はしなかったのか。
答 今のところ検討はしていない。昨年、国府支所で2日間実施したが、投票率の向上につながらなかった。もう少ししばらく現状を見て検討したい。

総務

平和推進事業
13万円

問 原爆も含め、現在の社会情勢等の変化に合わせて内容を検討してはどうか。
答 今後は原爆だけでなく、社会情勢等も踏まえて検討していく。

財政

財産管理運営事務事業
1790万円

問 公共施設の電気料金も高騰しているが、電力購入の入札はどのように行うのか。
答 電気料金の高騰で今と同じ条件付きの入札では参加者がいない場合も考えられるため、町と電気事業者とを仲介して価格や条件などの

情報

情報化推進事業
3486万円

問 スマート申請でどのような利便性が図れるのか。
答 引越申し込みや子育て・介護等の各種行政手続を住民がインターネットからオンライン申請できるだけでなく、決済や通知書類の交付まで、すべてオンライン上で完結できる。

地域

地域会館整備事業
1000万円

問 黒岩地区地域会館の建替えについて、場所が市街化調整区域の農地だが、県の開発審査会や建築審査会での許可が厳しいのでは。
答 一昨年度から平塚土木事務所の担当部署と話をしている。
問 黒岩地区認可地縁団体は設立されたのか。
答 設立申請はこれからと聞いている。

福祉

横溝千鶴子記念障害福祉センター整備事業
1940万円

問 横溝千鶴子記念障害福祉センターの改修はどうするのか。
答 2階食堂はカフェやレストラン、中庭はテラス、北側駐車場の拡張などを考えている。

地域生活支援等事業
4499万円

問 障がい者グループホームの家賃補助の内容は。
答 グループホームの支給決定を受けている障がい者が負担する家賃を補助するもので、国とは別に町独自で月額1万円を限度に補助するもの。



現在の黒岩公民館

子育て

子育て・親育ち支援事業
1393万円

問 療育支援訪問事業委託料の内容は。

答 親の病気、育児能力が低いなど、支援が必要と認められる家庭に対し、育児・家事のサポート計画を町がつくり、ヘルパー派遣事業者と契約して家庭を支援するサービス。ヤングケアラー支援も対象として令和4年度から始めた。



予算審査

環境

再生可能エネルギー等推進事業
156万円

問 電気料金の高騰など、社会情勢の変化に対応

答 できるよう、省エネや断熱など、昨年策定した地球温暖化対策に沿って取り組む必要があるが、どのように考えた予算なのか。

答 令和4年度は国の交付金が活用でき、太陽光パネルなどに係る補助額を増額したところ、申請数が伸びた。公共施設は電気の使用規模が家庭に比べると大きいため、初期投資やランニングコスト、補助金のメニューなども研究して、施設整備所管課と相談して取り組んでいきたい。

補正予算

ごみ

し尿処理施設更新事業
4500万円

問 し尿処理施設の更新は喫緊の課題だが遅れている。調査内容と進めるに当たつての課題は何か。

答 令和3年度に新たなし尿処理施設建設予定地から埋設物が出てきたため、作業を中断して埋設物の調査を行う。施設周辺で建設に適した場所の調査も含まれている。令和12年ごろの供用開始を目指している。



現在のし尿処理施設

議案審議

観光

みなとオアシス推進事業
1065万円

問 みなとオアシス推進事業の内容は。

答 大磯港の黒松の剪定、夏休み期間中、毎週金曜日の花火の打ち上げ、水に親しむイベント、秋口に駐車場でドライブインシアターを実施する予定。

観光案内所建替事業
799万円

問 駅前観光案内所の建替え工事設計委託の内容は。

答 移転に係る基本設計と実設計の委託料だが、規模や建物の内容は決まっていない。1年かけて利便性、災害時対応、再生可能エネルギーの活用などを見据えて考えていく。

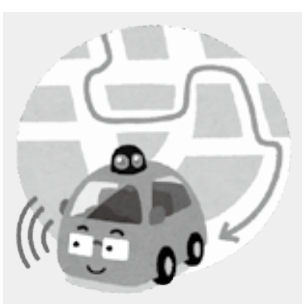
議案審議・審議結果

都市計画

地域公共交通計画策定事業
491万円

問 地域公共交通計画はどのように策定するか。

答 今後の人口減少や高齢化による免許返納、また、自家用車への依存によって地域公共交通の利用者の減少が予想されるため、誰もが快適に移動できるように交通ネットワークを形成する目的で、町民の意見を聞き、専門業者のノウハウ等も生かして策定していきたいと考えている。



一般質問

公園施設更新事業

8916万円

問 なかよし公園と馬場公園のリニューアルの内容は。

答 現在設置している遊具は安全基準に基づいて、すべて更新する予定である。障がい者の方も使える遊具も検討している。

旧東海道松葉(大磯高麗1号線)維持管理事業
671万円

問 旧東海道松並木敷の工事内容は。

答 景観アドバイザーや樹木医などの意見を聞きながら、イメージがわかるようなモデル地区2か所の整備を考えている。

議会報告会

河川

三沢川樋門整備事業
4770万円

問 この整備はどのくらいの高さに対して逆流を防ぐ樋門が設置できるのか。

答 逆流防止の扉をつけることで東町地区の標高3メートル前後の地盤に対して安全効果があがると考えている。

消防

消防団詰所維持管理事業
117万円

問 消防団詰所の修繕料の内容は。

答 第1分団の屋上と外壁防水等、第6分団のエアコンの新規購入等を予定している。



教育

消防用施設等整備事業
104万円

問 消火栓は適時適切な場所で即時対応が可能な状況であるか。また点検は十分されているか。

答 現在569か所に設置しており、消水利の基準は満たしている。しかし水道工事の配管布設時に良い位置に消火栓がつけられれば、増やしていく可能性はある。点検は全部の基数を年1回以上はできるように計画を組んでいる。

学校昼食運営事業
5705万円

問 中学校昼食運営委託料の内容と委託先は。

答 お弁当を注文するときのシステム運営費と、中学校まで配送する費用、生徒に渡す補助作業の費用及び新1年生の試食会の弁当代である。委託先はNPO法人湘南食育ラボを予定している。

問 令和4年度との違いは。注文数は。

答 物価高騰により委託料金が上がっている。弁当代も50円値上げされているが保護者の方の経済的負担を軽減するため、この値上げ分の50円も含まれている。注文数は令和3年度は2校で10食、令和4年度は25食である。

学校給食運営事業
8306万円

問 給食費の無償化はどのように積算したのか。会計はオープンになるか。

答 大磯小学校の児童数880人、国府小学校の児童数580人分に月額4500円を掛けた額。会計は情報公開請求で公開できる。

学校施設・設備維持事業
6390万円

問 学校の防犯体制はどのうなっているか。

答 令和5年度は防犯カメラを小学校は各3か所増設して8か所、中学校は各2か所増設する。また各学校で不審者侵入対応訓練を行っているほか、教員向けには夏休みに防犯研修会を行っている。

学校職員校務用

コンピュータ整備事業
4842万円

問 教職員にタブレット等が配布されるということだが、どのような内容か。

答 教職員のパソコンの入替えが9月に行われることに伴い、各中学校5校と研究所、委員会とのネットワークを構築する。児童生徒の情報の共有、引継ぎがスムーズに行われるようになるほか、遠隔授業や児童生徒同士が画面上で交流もできるなど、できることの幅が増えてくることを見込んでいる。

生涯学習

大磯ゆかりの画家によるアトリエ文化発信事業
476万円

問 郷土資料館での大磯ゆかりの画家によるアトリエ文化発信事業とあるが、どのような企画か。

答 大磯にアトリエを構えて60周年になる洋画家、三岸節子展を令和6年1月下旬頃に予定している。

予算特別委員会

委員長 渡辺 順子
副委員長 吉川 重雄

庄子 幸太
二宮加寿子
奥津 勝子
鈴木 京子
高橋 英俊
鈴木たまよ

討論 予算特別委員会

※委員会での討論のため、「委員」と表記しています。

一般会計に反対

3特別会計及び下水道会計に賛成

【高橋英俊委員】

現消防庁舎の耐震診断を令和5年度中の補正予算で対応すると答弁されたが、重要な政策につながる予算を当初予算に入らず、補正予算で対応するということは、総計予算主義の原則に反する。

全会計に賛成

【奥津勝子委員】

小学校給食の無償化や火葬料補助限度の拡充等、町長の選挙時の政策集の主だったものが盛り込まれた。そのため財政調整基金の取り崩しが1億円以上増額したことが危惧されるが、次年度に向かい事業の見直しなどバランスを考えると言われた。

全会計に賛成

【鈴木たまよ委員】

松並木敷がより大磯らしい町並みに整備されること、郷土資料館の企画展などを評価する。貴重な緑や美しい景観を残す努力を期待する。一方でし尿処理施設などの更新がある中、子育て・教育への予算配分が大きく継続できるか不安が残る。

全会計に賛成

【庄子幸太委員】

選挙で信任を得た短い期間の中で掲げた政策が随所に盛り込まれた予算を評価する。マイナンバーカードや自治体DXに関する新しい業務が入っている中で、窓口業務が増えていることが分かった。スムーズな移行を期待したい。

全会計に賛成

【二宮加寿子委員】

国府本郷西小磯1号線、幹線28号、歩道整備など、地元の環境も明るく進んでいく兆しがあることに期待。公園のリニューアル、インクルーシブ遊具の設置、コミュニティスクールの充実を評価する。

全会計に賛成

【吉川重雄委員】

火葬料の補助金の引き上げ、横溝千鶴子記念障害福祉センターの整備が進み、西部地区の包括支援センターが入る。東部の新しい包括支援センターにも期待する。再生可能エネルギー推進は今後に期待する。公約の実現に向けて一歩前進することを期待する。

本会議

一般会計に反対

3特別会計及び下水道会計に賛成

【清田文雄議員】

今回提案された事業は今後も持続していかねばならない。取り崩す基金や一般財源には限りがある。それらの事業に反対するわけではないが、国の動向を見てから判断してもよかったのではないか。

下水道会計に賛成

【鈴木京子議員】

行政の方針転換は、過去の経過を尊重することも大切。町長の力は絶大だが副産物として混乱をもたらすことも考えうる。今までと違った対応を求められる職員の気持ちを大切にして事業を執行されることを求める。

一般会計に反対

3特別会計及び下水道会計に賛成

【高橋英俊議員】

私は決算の数字に基づいて、大磯町の財政力を常に意識している。大磯町の財政力は僅かずつではあるが悪化している。事業を行う財源は慎重に国・県の補助金を検討し、財政調整基金等を安易に崩すべきではないと考え、反対とする。

一般会計に反対

3特別会計及び下水道会計に賛成

【渡辺順子議員】

前町長時代に長い時間と労力をかけて積み上げて進めてきた重要な政策を何の議論もなく独断で方向転換や休止することは民主主義の精神に反する。短期間での予算編成のため時間不足で精査不十分、バランスにかけていることは否めない。

全会計に賛成

【今井茂議員】

世情のエネルギー高、物価高、実質賃金の低下、税金・社会保険の負担増を鑑みるに、町民の皆さんが物心両面で少しでも安堵した生活の一助にしたい。ただためにも、予算はスムーズに通し、少しでも早く執行していただくため、賛成とする。

全会計に賛成

【飯田修司議員】

一番はこの庁舎の建設にストップをかけていたこと。地形的にここに建てる必要はない。この庁舎を広いところへ移転してもらい、そこに消防署や図書館、町の公共施設を充実させてほしい、それが町民の願いだと思う。

予算審査

補正予算

議案審議

議案審議・審議結果

一般質問

議会報告会

補正予算

議案第14号 ~ 議案第17号

一般会計は歳入歳出予算総額に4,345万円、国民健康保険事業特別会計は歳入歳出予算総額に23万円、後期高齢者医療特別会計は歳入歳出予算総額に224万円、介護保険事業特別会計は歳入歳出予算総額に1,490万円を追加する補正予算が提出されました。

補正予算審議中、一般会計補正予算に対する修正動議が成立し、「大磯町立幼稚園認定こども園移行事業」予算を削除する修正案が提出されました。修正案は可否同数により議長裁決で可決しました。



現在の町立大磯幼稚園

大磯町立幼稚園認定こども園移行事業

2495万円

待機児童対策を目的に町立大磯幼稚園を町立認定こども園へ移行するため、既存園舎の改修及び給食室や一時保育室等の新設など、安心して子どもを育てることができる環境整備を行うための設計委託料でしたが、議会から修正案が提出されました。
(次ページ参照)

問 町立の認定こども園

になるということだが、既に決定していた民間事業者への対応は。

答 事業者には、町立に

方向転換すると話をさせていただいた。今後損失補償等について協議していく。

問 町立での運営と私立

での運営では運営費に相当な差が出てくると思うが。

答 運営費用については

町立、私立変わらないと認識している。今回予定している145人規模の認定こども園では約1億4千万円が年間かかる見込み。しかし、国・県の負担金等があるかないかの違いは大きい。

一般会計（第9号）の主な内容

歳入	
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金	1,106万円
一般寄附金	2,510万円
財政調整基金繰入金	1,215万円
歳出	
企画調整事務事業	1,410万円
大磯町立幼稚園認定こども園移行事業 ※修正案により削除されました。	2,495万円
戸籍住民基本台帳運営事務事業	400万円
学校施設・設備維持事業（小学校費）	456万円

金額は、1万円未満を四捨五入

問 国・県からの負担金

等は現状でどれくらい見込めるものなのか。

答 概算であるが私立の

場合、1億4千万円のうち国庫が2分の1の約7千万。県費は4分の1の約3500万円。合計約1億円近くの負担金等を見込んでいる。町立の場合は、負担金等の措置はないが、一部、普通交付税で措置される。

問 学童の待機児童対策

として、施設を併設する計画をしていたが、どうなるのか。

答 現在の園舎をリノベ

ーションして認定こども園への移行を進めていきたい。その中で学童スペースを確保するのは難しいため、別途違う形で検討を進める。

一般会計補正予算 修正案が可決

奥津勝子議員・清田文雄議員・高橋英俊議員から提出

大磯町立幼稚園認定こども園移行事業を削除

修正案の趣旨説明

池田新町長の就任により、前町長の下で進めてきた大磯幼稚園の認定こども園民営化の方針が覆され、町立による認定こども園とする方針が示された。

しかし、議会への説明は、本年2月2日の福祉文教常任委員会協議会において、民営化から町立へ、新築からリノベーション、また、令和6年の4月の開園などの考え方のみの説明にとどまり、具体的な説明はせず、設計委託料の補正予算計上に至る。

令和4年6月定例会にて廃止した設置条例、決定済みの事業者への補償、町立化による財源計画など開園までのスケジュールも含め、議会と協働して進めるべき課題が多いため、一旦、補正予算から削除し、議会が責任を持って判断することができるよう、議会への説明責任を求め、修正案を提案するに至った。

修正案に対する質疑

問 いちばんの関心は、お金の出どころがはっきりしているか。また、令和6年4月1日に開園できるかだが、修正案を出して移行できるのか。

答 令和6年4月開園に向け、多少なりとも影響はあると思う。財源は、町立であれば一般財源から出さなくてはいけないが、民営化であれば国・県から負担金等が見込める。

問 今回修正案を出した目的は、民営化にすることか。それとも、町立園の説明を補つてもらうことか。

答 民営化にすれば、令和6年4月の開園に間に合うし、財政的にも国・県からの負担金等が見込める。

また、詳しい説明もなく補正予算を提出してきた町の姿勢が議会軽視とも感じる。

問 町の方針に対し、それを前に進めるといふ議会の役割も責任において必要だと思ふが。

答 町の方針を前に進めるといふのは大事なことでだが、財源、スケジュール等の説明もなく、議案を提出してきたことに憤っている。

修正案に対する討論

修正案に反対

修正案に賛成

【吉川重雄議員】

前の町長はあつという間に決めてしまった。修正案では町民の思い、保護者の思いが納得できるか、大きな疑問。

【庄子幸太議員】

PTAで議論をしていく中で、町立として残したいという声が大きくあつた。私は多くの民意を含めて支持したい。

【鈴木たまよ議員】

財政面では慎重に考えなくてはいけない。公立を残すということは、サーバーインターネットの意味でも大きな意味がある。一歩進んで町立の認定こども園、移行を進めていただきたい。

【渡辺順子議員】

計画どおりに進めていければ、令和6年に開園できた。町長の一存で方向転換するのではなく、議会と町が良好な関係で進んでいくことを守っていただきたい。

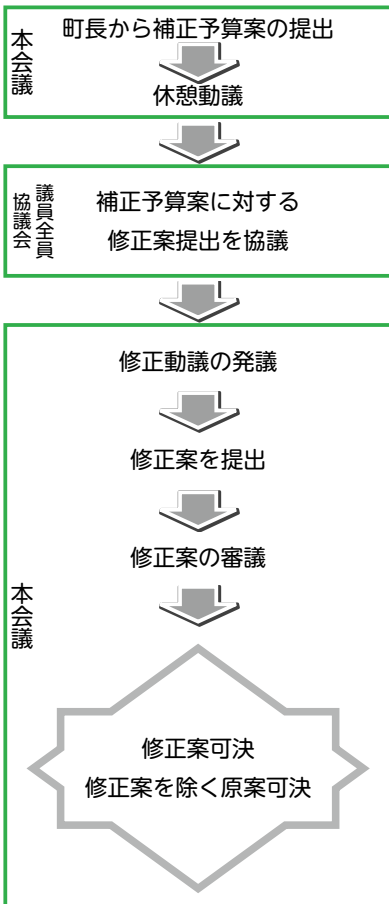
【鈴木京子議員】

町立がよいという気持ちは今も変わっていないが、運営費が不明であり、この段階でこの提案の仕方は認めがたいものがある。

【清田文雄議員】

議会が原案を可決することで、将来的な財政負担が一層増すことが考えられ、開園が遅れるリスクがある。

一般会計補正予算 修正可決までの流れ



議案第2号

新条例

大磯町まち・ひと・しごと創生基金条例

賛成多数で可決

大磯町まち・ひと・しごと総合戦略推進計画に基づく事業の推進を目的として、地方創生応援税制、いわゆる企業版ふるさと納税による寄附金の活用を図るため、大磯町まち・ひと・しごと創生基金条例を制定するものです。

質疑

問 企業がこの制度で寄附をするメリットは。

答 税制優遇が大きなメリット。寄附を通じて自治体を応援する企業のイメージアップや地域貢献にも結び付く。

問 地域再生計画はいつ認定されたのか。

答 令和4年3月に内閣府から承認された。

問 企業版ふるさと納税優遇はいつまでか。

答 令和7年3月までと認識している。

問 寄附の目標金額10億円とした意味は。

答 総合計画に基づき認定している事業費を根拠としている。

問 大磯町の企業が他市町村に寄附した場合、税収は減るのか。

また、地方交付税の措置はされるのか。

答 町の企業が寄附した

ことにより税収額が減った場合には、算入される額が減ることから、その分の地方交付税が増えることになる。

討論

委員会での討論のため、委員と表記しています。

反対

【渡辺順子委員】

条例に期限があるため基金を作らなくてもいいのではないかと思い、反対する。

賛成

【庄子幸太委員】

優良法人を抱える自治体は財政上潤うが、地方が抱える問題を解消できる事業と捉え賛成する。

議案第3号

新条例

大磯町個人情報の保護に関する条例

賛成多数で可決

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により、個人情報の保護に関する法律が一部改正されたことに伴い、法に基づく制度運用に移行するため、現行の大磯町個人情報保護条例を廃止し、新たに大磯町個人情報の保護に関する条例を制定するものです。

質疑

問 法改正により、法律と条例が二元管理されるが、自治体の範囲で決められるものを条例化して提案されたか。

答 町が決めないといけない部分、任意で決めることができる部分を加え制定するもの。

問 町が今後作成していく個人情報ファイルはどのくらいを見込んで

いるのか。

答 現在の取扱事務数が482本ある。このうち千人以上の個人情報取扱事務が91本ある。

問 訂正請求の手続きについて、町が独自に定めることは必要か。

答 町が必要とする部分では、連絡先を把握しないと手続きに不都合が生じるため設ける。

問 審議会の機能は十分に果たしていけるか。

答 地方の特性に応じて細かな部分の運用を行うところが出てくる。審議会は引き続き必要性がある。

問 セキュリティは国がきちんとできるのか。

答 個人情報保護を適切に保護する部分、有用性に着目して活用部分の法改正の柱になる。

討論

委員会での討論のため、委員と表記しています。

【渡辺順子委員】

今ある条例を新しくすること、個人情報が本当に守られていくのか、まだ十分でないと思いい反対する。

賛成

【二宮加寿子委員】

公的部門と民間部門、それぞれの法律と条例が一元化し、個人情報保護委員会にシフトし、管理、保護されることから賛成である。



大磯町職員の高齢者部分休業に関する条例

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

両議案 全会一致で可決

地方公務員法の一部改正に基づき、職員の定年を引き上げることに伴い、高齢期職員の多様な働き方のニーズに応えるため、高齢者部分休業制度に関する条例を制定するものです。

また、管理監督職務上限年齢制及び定年前再任用短時間勤務制等の導入に関し、関係条例の規定を整備するため、規定の改正を行うものです。

質疑

問 定年が2年に1歳ずつ引き上げられていくが、その内容は。

答 一気に65歳に上げると影響があることから10年かけて引き上げる制度。

問 管理監督職務上限年齢制とは。

答 一般的には役職定年といわれるもの。

問 定年前再任用短時間勤務制とは。

答 60歳以降の時点で一度退職をして短時間勤務職員として65歳まで働くことができるもの。

問 60歳に達した職員給与の考え方は。

答 民間における再雇用の水準、国に準じて従前の7割を支給する。

大磯町手数料条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

狂犬病予防法に基づく犬の登録に係る手数料及び神奈川県屋外広告物条例の事務移譲に伴う屋外広告物の設置等の許可申請に係る手数料について、規定の改正を行うものです。

質疑

問 今後販売される犬に

マイクロチップ装着が義務付けられ、従来の登録料3千円が無料になるが、読取りリーダーはどこが設置するのかが。

答 町は所有している。当然、動物病院も装備されていく。

問 狂犬病予防接種済シールはまだあるのか。

答 引き続き接種済シールは交付していく。

問 今後の見通しは。

答 販売される犬以外のマイクロチップ装着は努力義務だが、今後増えると考えている。

問 屋外広告許可事務を県から移譲するが、

所管はどこか。

答 町の都市計画課の事務として対応する。

問 仕事が増えるが、職員体制はどのようか。

答 県から協力を受けながら今の体制で行う。

問 事務移譲による収入はどのようか。

答 県が受け取っていた許可手数料約35万円と、事務交付金約100万円を見込んでいます。

問 景観行政との整合性はどのようか。

答 この移譲を踏まえ、独自条例の制定も進めていく。

討論

委員会での討論のため、委員と表記しています。

賛成

〔今井茂委員〕

大磯町のため、やる気と元気があれば年齢は関係ないので賛成する。

〔清田文雄委員〕

職員のさまざまな経験等が、複雑化する行政課題に対応できるとして歓迎する。

表 定年の引上げ

年度	定年の年齢
令和4年度まで	60歳
令和5年度・令和6年度	61歳
令和7年度・令和8年度	62歳
令和9年度・令和10年度	63歳
令和11年度・令和12年度	64歳
令和13年度から	65歳

管理監督職務上限年齢制

組織の新陳代謝の確保、活力維持のため、管理監督職として勤務できる上限年齢を60歳とする制度。

定年前再任用短時間勤務制

60歳以降定年前退職者を短時間勤務職に再任用する制度。

議案号
第7号

大磯町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

国が定める「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」が一部改正されたことに伴い、大磯町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものです。

改正内容

- (1) 児童の安全確保の推進
 - ア 安全計画の策定
 - イ 安全計画の職員への周知
 - ウ 安全計画の保護者への周知
 - エ 安全計画の見直し・変更
- (2) 園バス運行時の安全管理
 - ア 利用乳幼児の所在確認
 - イ 送迎自動車への利用乳幼児の所在の見落とし防止装置の設置
- (3) インクルーシブ保育の推進
- (4) 懲戒権に係る規定の削除
- (5) 衛生管理の推進の努力義務化

施行日

令和5年4月1日。ただし、(2)のイについては令和6年3月31日までの経過措置、(4)は公布の日からとする。

質疑

問 町内の対象施設は。

答 小規模保育事業A型の「もあなこびとのこや」1施設のみ。ただしインクルーシブ保育については対象施設ではないと伺っている。

問 今回の法改正でインクルーシブ保育の推進を義務付けていると受け止めているが。

答 インクルーシブ保育については事業者が福祉施設を併設している等に限り、という条件がある。

問 懲戒権に係る規定が削除されることにより、

問答無用で何もしてはいけなくなるということか。

答 今回の法改正の中で児童虐待防止を図る目的で、すべてを禁止する形となっている。

議案号
第8号

大磯町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

国が定める「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」の改正に伴い、大磯町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものです。

改正内容

- (1) 懲戒権に係る規定の削除
 - 民法の法改正に基づき、特定教育・保育施設の管理者は、給付認定子どもへの懲戒に関する給付認定子どもの福祉のために必要な措置を採るときは、身体的苦痛を与え、人格を辱める等その権限を濫用してはならない
- (2) こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に係る文言整理

施行日

令和5年4月1日。ただし(1)については公布の日からとする。

質疑

問 懲戒権とは具体的にどのような場面か。

答 体罰ではないが、罰として子どもを叱ること自体が虐待に当たり、その部分を削除する。

問 町内の認可外保育施設の扱いはどうなるのか。

答 今回の改正には含まれないが、国基準に合わせて運用していくよう指導していきたい。

問 園バス運行時の安全管理等、保護者が気になる内容について、今回改正がないということとは、既にその部分の対応は図られていると理解してよいか。

答 認可している神奈川県でも基準を策定している。国の改正に合わせて県の基準も改正される。



大磯町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

国が定める「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」が一部改正されたことに伴い、大磯町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものです。

改正内容

- (1) 児童の安全確保の推進
 - ア 安全計画の策定
 - イ 安全計画の職員への周知
 - ウ 安全計画の保護者への周知
 - エ 安全計画の見直し・変更
- (2) 自動車運行時の児童の所在確認
- (3) 業務継続計画の策定等
 - ア 業務継続計画の策定
 - イ 業務継続計画の周知
 - ウ 業務継続計画の見直し・変更
- (4) 衛生管理の推進

施行日

令和5年4月1日。ただし(1)の安全計画の策定等に係る改正については、令和6年3月31日までの経過措置が規定されている。

質疑

問 業務継続計画の策定等についてはいずれも努力義務だが、町はどう捉えているか。

答 努力義務とはうたっているが、町としても必要なのだと理解している。各事業者には作成するよう協力を求めている。

問 来年度から大磯学童の委託事業者が変更になる。同様のマニュアルを持っているのか確認しているか。

答 令和5年度からの新しい事業者については、基本的には前事業者の活動状況等を継続していただくことが大前提のため、この件についても継続されていくと認識している。

問 施行日について、安全確保の推進における安全計画の策定については、令和6年3月31日まで経過措置が規定されている。その理由は。

答 計画を持っていない事業者はないと思うが、ゼロからスタートする場合については、策定に時間がかかるということと1年間の経過措置を設けていると考える。



大磯町小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

大磯町では子どもの入院及び通院に係る医療費の自己負担分を助成する小児医療費助成事業を実施しています。このたび対象の範囲を18歳まで拡充することで、子育て世帯のさらなる経済的負担の軽減や安心して子育てをすることができるよう環境充実を図るため、大磯町小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正するものです。

質疑

問 所得制限は。

答 すでに所得制限はない。あくまで対象年齢を中学生から高校生に引き上げたものとなっている。

討論

賛成

【奥津勝子議員】

子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てをすることができるよう環境づくりをすることを評価して賛成とする。

問 今回の拡充にあたり町の負担見込みは。

答 おおむね850人の増を見込んでいる。令和5年度については拡充分約1200万円を予算に計上しているが、令和5年4月1日から

議案第11号

大磯町国民健康保険条例の

一部を改正する条例

全会一致で可決

国民健康保険の出産育児一時金の支給額を令和5年4月1日より現行の42万円から50万円に改めるため、大磯町国民健康保険条例の一部を改正するものです。

質疑

問 支給までにかかる時間の見通しは。

答 一時金については医療機関等が代理になり請求して頂くことが多いため、支払いを待つてもらうような形態のものではない。

問 窓口負担はないという理解でよいのか。

答 基本的には本人が50万円を超えた部分を病院に支払うが、50万円については医療機関から直接、審査会を経て町に請求が来る。そのため本人負担は実質発生しないケースがほとんどと認識している。

議案第12号

町道の認定及び一部廃止について

全会一致で可決

改正内容

- (1)新たに認定される町道 高麗51号線（高麗2丁目地内）、総延長97・2メートル。
- (2)一部廃止される町道 駅前町道幹線12号線の一部延長101・6メートル。

質疑

問 高麗51号線について、安全上問題はないと判断しているのか。

答 幹線道路に接続していること、緩やかなカーブということ、比較的交通量もあるということから危険もあり得るが、カーブミラーの設置や危険防止のための看板設置などを行いながら交通安全対策に十分努めたい。

問 駅前広場については、安心のために何らかの担保が必要だと思ふ。

答 JRとそのような文書の取交わしをしたのか。計画協議は書面で行っている。駅前広場の整備が終わった上で、維持管理についてもJRと協定書を締結していきたい。



新たに認定される町道付近

議案第1号

専決処分の承認を

求めることについて

全会一致で可決

質疑

問 議会中に起きた事故だが、なぜ速やかに報告しなかったのか。

令和4年12月21日に国道1号上で発生した対物事故の損害賠償金29万8848円を専決処分したことについて、議会の承認を求めるものです。

事故概要

救急要請時に国道1号山王町交差点付近で救急車両が後退したところ、信号待ちをしていた車両に接触した。令和5年1月21日に相手方と示談が成立した。

問 救急要請時の事故とこのことで、救急要請をされた方への影響はなかったのか。

答 本署が現場に行き、救急救命士が付添っている際に事故が発生した。その後、分署が現場に行き病院に搬送したため、影響はなかった。

討論

賛成

〔二宮加寿子議員〕

子育て応援トータルプランと合わせて恒久的な支援となる。速やかに条例改正をして運用できるようにするため賛成とする。

議案第13号 人事案件

固定資産評価審査委員会委員

中村 さち恵 氏

(40歳・平塚市)

全会一致で可決

町政のここが聞きたい

一般質問

2月22日・24日に9人の議員から19問の質問がありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。
 詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

本会議では、新型コロナウイルス感染症対策のため、飛沫感染防止板を設置し開催しました。

【文責は本人】

健康ボランティア ポイント普及は ポイントを差し上げる



三宮加寿子

問 健康維持や地域活性化のため、介護予防や健康づくり、ボランティア活動に参加する方に付与する「健康ポイント」「ボランティアポイント」普及促進の考えは。

町長 健康ポイント制度は、健康づくりの運動や健康教室への参加、健診の受診などでポイントを受け取り、景品やクーポン券などと交換できる仕組みで、楽しみながら健康づくりに取り組むこと。通いの場など、介護予防に参加するきっかけにすることも考えて、先行自治体を確認し検討する。

ボランティアポイントは

町では介護保険制度の介護予防事業で平成26年度より大磯はつらつサポート事業を実施している。健康ポイントと同様に今後、町内に展開していく通いの場での活用も検討する。

問 具体的な考えは。

町長 通いの場でのボランティア活動にポイントを差し上げるのも一つの手段。

その他の質問

○こども・若者議会の設置について

○学校等におけるでんかん発作時の口腔用液の


投与について

○部活動のあり方

2 福祉・医療の充実

住めば健康
「おいそトータルヘルスケアプラン」

- ・町社会福祉協議会の運営立直し
- ・大磯/湘洲会病院(仮称)への支援
(産婦人科、小児科再開や交通アクセス)
- ・町行政と町内医療機関及び
大磯湘洲会病院(仮称)との連携強化
- ・通いの場(介護予防)の全町内普及



通いの場づくりを推進

おいそ文化祭 持続可能な再開は 今秋には 何らかの形を



庄子幸太

問 3年間休止しているおいそ文化祭の持続可能な再開に向けて、具体的な考えはあるか。

町長 指摘を踏まえ、これに代わる文化芸術の催しの企画・開催に必要な団体へ支援を行っていきたい。そして、今年秋には何らかのものができよう取り組みたい。

問 大きな施設に頼らず大磯全体を回遊するような展開を望む声があるが町長 文化ツーリズムの核にもなるし、町民文化活動の重要な課題である。空き家等利活用について
問 今、国会では管理不全空き家所有者へ税を課



3年振り開催の左義長

して流通させる議論が行われているが非常に乱暴。町のサポートが必要では。

答 早い段階の情報提供を含め、他の自治体でも行っている建物本体に対する補助金新制度も検討。

問 来年4月から始まる相続登記義務化の周知を図ることは重要。長く健康に住み続けられるまちづくりで大切な視点は。
町長 健康で長く住みやすい大磯をつくることは本当に大事。全町内で通いの場の普及や、行政の仕組みを民間の力も借り全力で取り組んでいく。その他の質問
○中学校部活動について

砂利港の町民への メリットは 防災上の重要な施設



今井 茂

問 粉じんについて、スプリンクラーの設置はできないか。

町長 水まきの自動化など効果的な飛砂対策について県に申し入れる。

問 町のメリットは。
答 大磯港は神奈川県地域防災計画において、防災上の輸送拠点となる機能を持つ重要な施設。

問 町の将来展望は。
町長 荷さばき地について、県の収入2700万円も確保できる。ほかの事業で活用していただくことが検討課題。併せて、しっかりとした要望書をしたため県に進行管理も含めて要望していく。



砂利港

問 大磯市を活用した町の活性化について。

町長 令和5年度には打ち上げ花火・イベントの開催、憩いの場となるような空間づくりなど、みなと下町エリアへの活性化を図っていく。

問 大磯市のパワーを流入人口の増加と空き家対策に結び付ける仕組みづくりができないか。

町長 第一歩として3月19日の大磯市にブースを造って町内に新しく店を構えられるサポート策をまとめたチラシを私が入口付近で配布させていた。

本年度の 教育委員会の課題を問う

老朽化する校舎改修等



吉川重雄

問 昨年12月に行政トップが代わり、さまざまな公約の中で、令和5年度における教育委員会の課題があるのかを問う。

町長 政策集の一番目に子育て・教育環境の向上を掲げており、最重要事項の取組みであると捉えている。学校教育については教育長が答弁する。
教育長 教育委員会が現状抱えている課題は、具体的には老朽化する小学校の校舎の改修や文化・伝統行事の支援などのほか、令和3年度から進めている教育ビジョンの策定、中学校部活動地域移行に向けた取り組み、



大磯中学校3号館

社会教育施設の管理運営、無形民俗文化財の担い手などを課題として認識をしている。いじめをはじめとするさまざまな事業の対応については、教員が一人で抱えることなく、組織的に対応しながら解決に向けて取り組んでいく。
問 2月10日のタウンニュースの意見広告に教育のデジタル化でいじめをなくすと書かれていたが、教育のデジタル化でいじめをなくすことができるのか。
教育長 私の理解の中では考えられない。

町立認定こども園に 混乱はないか

町立こども園化進める



鈴木京子

問 民間による認定こども園化が進む中、町長が大転換を表明された。混乱なく計画通りの内容を実施するには、時期として困難と危惧する。保護者はじめ関係者との意思疎通、手続きや財源確保等、必要なことへの見通しを伺う。

町長 定例会初日の町立幼稚園の子ども園移行事業に係る設計委託料が認められなかった件については、議会への説明不足を真摯に反省し開園までのスケジュールと財源の問題を明確にし、令和6年4月の町立子ども園化を進めたいと考えている。

問 初日と変わったことは複数年かけて改修することだが、きちんと説明できない中で設計委託料が計上されたのではないか。

町長 何か質問があればそういう答えをしようという構えていたが、質問がなかった。町立で、町が責任を持っていちばんよい子育てをやっていく。
問 大事なところは言ってもらわなければ困る。民営でいいと判断した議員の気持ちが変わるくらい提案をされるか。
副町長 他の計画との整合性も考えながら、詳細を議会に説明したい。



大磯幼稚園

エアコン工事3倍 開きができるのは 議事録を確認して



飯田修司

問 小、中学校4校に設置したエアコンの工事代金は合計で7億円、二宮町は5校で2・5億円。3倍の開きが出るのはどういうことか。

答 過去に何度も説明をしているため、議事録を確認していただきたい。

問 過去の議事録を見て、言っている場合ではない。間違った時の議事録を見ても仕方がない。だからしない予算組をしないよう、お願いしたいが。

町長 何年かしたら見直しというタイミングになるので、私なりの視点で見直すべきところは見直して、町民のご理解をい



ただけるよう進める。

問 タブレット端末の合計が他の市町と1台で4万円違うが。

答 他の市町がどういった計上をしているかわからないが、大磯町については議会の承認を得たと認識している。

問 他の市町と研究して、大磯がとびぬけて高いか。調べる気持ちはないか。

答 3年で期限がくるため、買取りかリースがいかが、その時点での最善を考えなければいけないと認識している。

その他の質問
○新型コロナウイルス接種事業について

第2次行政経営プラン について 計画に基づき進める



高橋英俊

問 このプランをどのように認識しているのか。

町長 第五次総合計画前期基本計画中の令和3年度から7年度に見込まれる財源不足を解消する目的とし、歳入確保と歳出削減に向けた取組みを進め、財源確保のための計画である。

問 具体的にどのような財源を確保するのか。

町長 歳入確保の取組みは、町税等収入の確保、受益者負担の適正化、公有財産の処分と活用、積極的な財源の確保、また歳出削減の取組みは、事務手法の見直しと効率化、補助金・交付金の見直し、



大磯町第2次行政経営プラン

公共施設のマネジメント、予算規模の抑制、縮小に取組む。当面、大磯港県営駐車場の利用率の増加に向けた港の誘客につながる事業に取組み、企業版ふるさと納税の活用も積極的に活用PRを行う。また国、県からの補助金等について積極的に財源確保を図る。

問 自立、持続する行財政運営となるのか。

答 社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、第2次行政経営プランの歳入確保と歳出削減に向けた取組みを着実に進めていくことが必要であると認識している。

財源不足になるのでは どこからか捻出する



渡辺 順子

問 セーフティネットや町立の役割を果たすため、民営によることも園を町立にする、との町長答弁だが、セーフティネットの状況、町立の役割とは。

答 町内の2つの民間園でもDV関係や要保護児童、障がい児を受入れている。町立の役割は緊急受入れと地域の拠点だと認識している。

問 民営こども園が行う他の事業は何か。

答 園に併設する学童保育と開園前の家庭的保育である。

問 既に決定していた事業者との話し合いは。

答 開園の準備を進めて



大磯幼稚園

いたので補償を協議する。

問 民営は新築だったが町立では補助金は無く大規模修繕で借金が増える。補償費も必要。今後、園運営費と学童保育の委託金が毎年かかる。子どもの成長段階で多様な支援が必要となるが、応える財源が不足するのでは。

町長 どこからか予算を捻出して他の支援も行う。

新庁舎整備休止について

問 必要な機能を備える新庁舎整備を休止し、耐震基準に満たない現庁舎の耐震診断を行う目的は。

町長 耐震補強が可能なら費用を安く抑え、財源の有効活用につながる。

町の情報化推進 の取組みについて 総合計画と整合を図る



清田 文雄

問 令和3年の協議会での情報化推進の取組みについて説明したが、その後については。

答 国が、特に国民の利便性向上に資する手続きについて、町が行うべき27の続きについてオンライン化を進めている。

問 職員の働き方改革にも通じる業務の自動化・効率化についての進捗状況は。

答 紙の帳票を電子データに変換するA I O C Rパソコンの入力を自動化するR P Aを導入し着手している。

問 W i F iの整備とデジタル基盤の整備につ



庁舎内に整備されたWi-Fi設備

いては。

答 W i F iの整備は、町立各小中学校の体育館は整備済み、役場本庁舎・支所ほか、11か所の施設についても3月から利用開始の予定。

デジタル基盤については、令和5年度の取組みは、令和3年から進めてきた取組みの定着と活用、行政手続きのオンライン化やワンストップ化の推進、業務の自動化・効率化を進めていく。

議会報告会のお知らせ

～ 国府と大磯両地区で開催いたします ～

報告内容

- 第1部 : 令和5年度当初予算
- 第2部 : その他事業（新庁舎・認定こども園について）



令和4年11月開催のようす

日時・場所 : 4月29日(土)

- 第1回目 : 午前10時～12時 国府支所 2階会議室
- 第2回目 : 午後2時～4時 本庁舎4階 第1委員会室とオンライン(ZOOM)

申込み・受付期間 : 4月17日(月)～4月26日(水) (土・日除く)

お名前・電話番号・参加希望回(会場またはオンライン※2回目のみ)を明記の上、会場参加の方は電話またはFAXで、オンライン(ZOOM)希望の方はEメールで議会事務局までお申込みください。

定員 : 各会場30人(先着順)

オンラインを希望の方は、事前にZOOMを利用できる環境のご用意をお願いします。

問い合わせ・申込み先 : 議会事務局

- T E L : 0463-61-4100 (内線 292) F A X : 0463-61-1991
- E メール : giji@town.oiso.kanagawa.jp



こちらからもお申込み方法を確認できます。

傍聴案内

6月定例会は **5月23日(火)** からです。

6月定例会の日程は、24ページをご覧ください。

役場4階議場で

議会事務局で手続き後、議場の傍聴席で審議のようすを直接ご覧になります。

役場1階ロビーで

正面玄関を入ってすぐ右手。モニターで生中継がご覧になれます。

ご自宅のテレビで

ご自宅のテレビ(SCN101チャンネル)でライブ中継と再放送がご覧になれます。

会議録の閲覧

過去の会議録は、町議会ホームページや図書館でご覧になれます。

わくわくの一年生

4月6日、ピカピカの小学一年生の入学式の写真を撮るため、国府小学校に伺いました。先生方のご協力をいただき、写真撮影をいたしました。

本年度の大磯町の新生年は国府小学校91名、大磯小学校142名合計233名です。当日は、風が強く小雨まじりの天

気でしたが、色とりどりのランドセルを背負い、緊張したようすで校門をくぐっていました。

これから始まる小学校生活をわくわくしながら元氣いっぱい楽しんでください。



3月24日 産業能率大学小田実講師による「自治体DXに向けての取組みについて」議員研修会を行いました。

吉川論議員が3月15日付けで議員を辞職しました。

議会スナップ

議会のつばき

1月

- 5日 議会だより編集委員会
- 12日 議会だより編集委員会
- 16日 議会運営委員会／議員全員協議会
- 17日 議会だより編集委員会
- 26日 総務建設常任委員会協議会
- 31日 議会運営委員会

2月

- 2日 福祉文教常任委員会協議会
- 3日 議会運営委員会／議員全員協議会
- 9日 新庁舎建設等特別委員会
- 13日 3月定例会（議案審議等）／議員全員協議会
- 16日 総務建設常任委員会／議会運営委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 20日 3月定例会（総括質疑）／議員全員協議会／予算特別委員会
- 22日 3月定例会（一般質問）
- 24日 3月定例会（一般質問）
- 27日 予算特別委員会
- 28日 予算特別委員会

3月

- 2日 予算特別委員会
- 3日 予算特別委員会
- 14日 議員全員協議会
- 15日 3月定例会（委員長報告等）

6月定例会

- 5月23日(火) 議案上程等
- 30日(火) 一般質問
- 31日(水) 一般質問
- 6月2日(金) 委員長報告等

湘南ケーブルテレビ
地上デジタルSCN101
チャンネルにて放映
生放送9時～、
再放送は19時～

議会だより第214号の表紙を飾りませんか

テーマ：「笑顔」

応募期間：令和5年6月27日(火)まで受付
※応募上の注意や応募方法は、大磯町議会ホームページでご確認ください。
問い合わせ：大磯町議会事務局

【編集後記】

3年余りに及ぶ新型コロナウイルスとの闘いや、ロシアによるウクライナ侵攻など、本紙表紙テーマの笑顔に影を落とすニュースが多かった令和4年。

大磯町から初めて新十両「湘南乃海」の誕生、野球ではWBC日本代表の大活躍で胸躍った令和5年が幕を明けました。入園、入学の季節を迎え、マスクを外した笑顔のご家族を見かける機会が増えてきました。感染症との新しい共存と新生活への希望を胸に、少しでも楽しめる紙面づくりを進めてまいります。

【発行責任者】

議長 竹内恵美子

【議会だより編集委員会】

委員長 鈴木たまよ

副委員長 飯田 修司

委員 吉川 重雄

庄子 幸太

奥津 勝子

今井 茂

【オブザーバー】

副議長 清田 文雄